


## 1. 総論

【総括判断】「管内経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、  
 厳しい状況にあるものの、足下では下げ止まりの動きが  
 みられる」







項目	前回（2年4月判断）	今回（2年7月判断）	前回比較
総括判断	新型コロナウイルス感染症の影響により、経済活動が抑制されるなか、足下で急速に下押しされており、厳しい状況にある	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、足下では下げ止まりの動きがみられる	

（注）2年7月判断は、前回4月判断以降、足下（7月末）の状況までを含めた期間で判断している。

## （判断の要点）

個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響により、百貨店・スーパー販売及びコンビニエンスストア販売は前年を下回っているものの、足下では客足が戻りつつあるなど、緩やかな持ち直しの動きがみられる。生産活動は、一部に下げ止まりの動きがみられるものの、感染症の影響により、弱い動きが続いている。雇用情勢は、有効求人倍率が低下しているなど、感染症の影響により、弱い動きとなっている。

## 【各項目の判断】

項目	前回（2年4月判断）	今回（2年7月判断）	前回比較
個人消費	新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている	新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きが続いているものの、足下では緩やかな持ち直しの動きがみられる	
生産活動	新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている	一部に下げ止まりの動きがみられるものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きが続いている	
雇用情勢	改善していたが、新型コロナウイルス感染症の影響がみられる	新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている	
設備投資	元年度は増加見込み	2年度は増加見込み	
企業収益	元年度は増益見込み	2年度は減益見込み	
住宅建設	弱含んでいる	弱含んでいる	

## 【先行き】

先行きについては、新型コロナウイルス感染拡大の防止策を講じつつ、社会経済活動のレベルを段階的に引き上げていくなかで、各種政策の効果もあって、厳しい状況から持ち直しに向かうことが期待される。ただし、感染症の動向や令和2年7月豪雨の影響など、管内経済を下押しするリスクに留意する必要がある。

## 2. 各論

### ■ 個人消費 「新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きが続いているものの、足下では緩やかな持ち直しの動きがみられる」

百貨店・スーパー販売は、巣ごもり需要により食料品が堅調であるものの、臨時休業や催事の中止により来店客数が減少したことから、前年を下回っている。コンビニエンスストア販売は、外出自粛や行楽需要の減少により前年を下回っている。ドラッグストア販売は、衛生用品や食料品を中心に前年を上回っている。ホームセンター販売は、DIY 関連商品やインテリア、園芸用品を中心に前年を上回っている。家電大型専門店販売は、テレビやエアコンを中心に回復し足下では前年を上回っている。乗用車の新車販売及び宿泊者数（延べ）は、前年を下回っている。なお、足下では客足が戻りつつあるなど緩やかな持ち直しの動きがみられる。

#### （主なヒアリング結果）

- 臨時休業や催事の中止により来店客数が大幅に減少し苦戦していたが、セールの前倒しやお中元の動きが良かったこともあり6月は徐々に回復し、催事を除いた売上は前年に近い水準となった。（百貨店・スーパー）
- 食料品は一貫して好調である。緊急事態宣言が解除されても、外食需要が完全に回復していないため、前年を上回る状況が続いている。（百貨店・スーパー）
- 外出自粛や行楽需要の減少により、来店客数が減少し、おにぎりやサンドイッチ、ソフトドリンクが不調であった。ただし、緊急事態宣言解除後の客足は回復傾向にある。（コンビニエンスストア）
- 一時期の勢いはないものの、マスクやアルコール除菌などの衛生用品と食品が好調である。（ドラッグストア）
- 巣ごもり需要により DIY 関連商品や園芸用品が好調であった。足下では、家具などのインテリアも好調である。（ホームセンター）
- 巣ごもり需要に加え、特別定額給付金の支給開始により、テレビやエアコンが売れている。旅行やレジャーが躊躇されるなか、家電製品を購入しているお客様が多い印象。（家電大型専門店）
- 臨時休業や外出自粛の影響により、来店客数が減少していたものの、緊急事態宣言解除後は、客足の戻りがみられ、受注状況も回復してきている。（自動車販売店）
- 4月以降、宿泊客だけでなく日帰り客の来訪も大幅に減少。既に底は打ったと感じているが、宿泊客の動きはまだ鈍い。（観光業界団体）

### ■ 生産活動 「一部に下げ止まりの動きがみられるものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きが続いている」

食料品等は、畜産製品等が堅調である。電子部品・デバイスは、スマートフォン向け部品の受注が減少している。化学・石油製品は、自動車向け製品が低調である。汎用・生産用・業務用機械は、自動車関連製造装置に弱い動きがみられる。輸送機械は、自動車及び同部品が低調である。なお、足下では一部に下げ止まりの動きがみられる。

- 感染症対策による外出自粛等により、業務用食品の需要は減少したものの、家庭用食品の需要は緊急事態宣言解除後も好調に推移しており、全体では高い生産水準を維持している。（食料品等）
- 主力のスマートフォン向け部品は、感染症の影響によるスマートフォン需要の減少により受注も減少していたものの、中国の経済活動が早期に再開されたことなどから、足下では受注が回復しつつある。（電子部品・デバイス）
- 感染症の影響により、自動車向け樹脂素材の需要が減少していることから、在庫調整を行っており、低い生産水準となっている。（化学・石油製品）
- 世界的な自動車需要の低迷により、設備投資マインドが抑制されていることから、工場の稼働率が低下している。（汎用・生産用・業務用機械）
- 感染症によるサプライチェーンへの影響のほか、自動車需要の低迷を受けて生産調整を実施。生産台数は低水準で推移しているものの、今後、生産台数の回復が見込まれている。（輸送機械）

### ■ 雇用情勢 「新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている」

有効求人倍率は、低下している。新規求人数は、宿泊業・飲食サービス業、医療・福祉、卸売業・小売業を中心に幅広い業種で前年を下回っている。

- 政府の雇用調整助成金や金融機関の協力などもあり雇用は維持できているが、今後半年同じような状況が続けば維持できるか分からない。（宿泊業）
- 医療・福祉において、人手不足が解消しているわけではないものの、このところ来院患者数の減少等により求人を探えている事業所がある。（公的機関）
- 感染症の影響により営業時間を短縮したことで、結果的に人手不足の状況が解消した。（卸売業）

- **設備投資 「2年度は増加見込み」**（全産業）「法人企業景気予測調査」2年4～6月期
  - 製造業では、非鉄金属製造業などで減少見込みとなっているものの、情報通信機械器具製造業などで増加見込みとなっており、全体では増加見込みとなっている。
  - 非製造業では、卸売業などで増加見込みとなっているものの、金融業、保険業などで減少見込みとなっており、全体では減少見込みとなっている。

- コンデンサ用原料生産施設及びコンデンサ生産施設についての投資を見込む。（情報通信機械器具製造業）
- 大型支店の老朽化に伴う建替設備投資や、業務効率化のための基幹システムの維持更新投資を予定。（卸売業）

- **企業収益 「2年度は減益見込み」**（全産業）「法人企業景気予測調査」2年4～6月期
  - 製造業では、自動車・同附属品製造業などで減益見込みとなっているものの、生産用機械器具製造業などで増益見込みとなっており、全体では増益見込みとなっている。
  - 非製造業では、農林水産業などで増益見込みとなっているものの、卸売業などで減益見込みとなっており、全体では減益見込みとなっている。
- **企業の景況感 「『下降』超幅が拡大」**（全産業）「法人企業景気予測調査」2年4～6月期
  - 企業の景況判断BSIは、前期(2年1～3月期)に比べ、全産業では「下降」超幅が拡大している。なお、先行きについては、2年7～9月期は「下降」超幅が縮小する見通しとなっている。
- **住宅建設 「弱含んでいる」**
  - 新設住宅着工戸数をみると、前年を下回っている。
- **公共事業**
  - 公共工事前払金保証統計の請負金額（2年4～6月累計）でみると、前年度を上回っている。
- **農業**
  - 野菜について、農協共販量は3月から5月まで前年を下回っている。販売単価は3月から5月まで前年を上回っている。
  - 畜産物について、牛のと畜頭数は3月から5月まで前年を下回っている。枝肉卸売価格は3月から5月まで前年を下回っている。豚のと畜頭数は3月、4月は前年を上回り、5月は前年を下回っている。枝肉卸売価格は3月から5月まで前年を上回っている。
- **倒産**
  - 企業倒産（2年4～6月期）は、件数、負債金額ともに前年を上回っている。

### 3. 各県の総括判断

	前回（2年4月判断）	今回（2年7月判断）	前回比較	総括判断の要点
熊本県	新型コロナウイルス感染症の影響により、経済活動が抑制されるなか、足下で急速に下押しされており、厳しい状況にある	新型コロナウイルス感染症の影響により、 <b>厳しい状況にあるものの、足下では下げ止まりの動きがみられる</b>	➡	個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響により、百貨店・スーパー販売及びコンビニエンスストア販売は前年を下回っているものの、足下では客足が戻りつつあるなど、緩やかな持ち直しの動きがみられる。生産活動は、一部に下げ止まりの動きがみられるものの、感染症の影響により、弱い動きが続いている。雇用情勢は、有効求人倍率が低下しているなど、感染症の影響により、弱い動きとなっている。
大分県	新型コロナウイルス感染症の影響により、経済活動が抑制されるなか、足下で急速に下押しされており、厳しい状況にある	新型コロナウイルス感染症の影響により、 <b>厳しい状況にあるものの、足下では持ち直しの兆しがみられる</b>	➡	個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きが続いているものの、足下では百貨店・スーパーなどで客足が戻り始めているなど、緩やかな持ち直しの動きがみられる。生産活動は、感染症の影響により、弱い動きが続いているものの、足下では持ち直しに向けた動きがみられるほか、雇用情勢は、感染症の影響により、弱い動きとなっている。
宮崎県	新型コロナウイルス感染症の影響により、経済活動が抑制されるなか、足下で急速に下押しされており、厳しい状況にある	新型コロナウイルス感染症の影響により、 <b>厳しい状況が続いているものの、足下では下げ止まりの動きがみられる</b>	➡	個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きが続いているものの、足下では百貨店・スーパーなどで客足が戻りつつあるなど、持ち直しに向けた動きがみられる。また、生産活動は、一部に下げ止まりの動きがみられるものの、感染症の影響により、弱い動きが続いているほか、雇用情勢は、感染症の影響により、弱い動きとなっている。
鹿児島県	新型コロナウイルス感染症の影響により、経済活動が抑制されるなか、足下で急速に下押しされた状況にある	<b>一部に下げ止まりの兆しがみられるものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況が続いている</b>	➡	個人消費は、新車販売や旅行取扱高、観光面などを中心に落ち込みがみられたが、緊急事態宣言解除後は、営業再開の動きがみられ一部に客足が戻りつつあることなどから、一部に下げ止まりの兆しがみられるものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている。生産活動は、一部に持ち直しの動きがみられていたが、感染症の影響により、一進一退の状況にある。雇用情勢は、感染症の影響により、弱い動きとなっている。